事故防止対策委員会　活動内容をご報告

# SOYOKAZE ZIKOBOU@NEWS

Vol. 12
2022年3月号

## キララそよかぜの取り組み

### 内部研修の内容

#### ✎AED内部研修

キララ職員向けに、AEDの使用および、心肺蘇生法についての内部研修を行いました。どのような場面でAEDを使用するのか、どのような手順で救護活動を行うのかを学びました。

胸骨圧迫の訓練では、「５センチも深く圧迫を続けるのは非常に大変であった。周囲との協力が不可欠である」といった声も上がり、定期的に開催してほしいという前向きな意見も出ました。緊急時に備え、人命救助についての研修をこれからも実施していきたいと思います。

AED研修

#### ✎危険予知訓練

職員会議内で危険予知訓練という研修を行いました。危険予知訓練というのは作業や職場にひそむ危険性や有害性等の危険要因を発見し解決する能力を高める手法です。実際にキララの写真を見ながら、どんな所が危険であるかを検討しました。このような訓練を行うことで日ごろから「危険に気づく力」を身に着け、事故防止に努めていきます。

危険予知訓練

### ☆キララ職員インタビュー☆

*？事故を防ぐために気を付けていることはなんですか？*

ケガを防ぐことに重点を置きすぎるがあまり、利用者の方々がチャレンジする気持ちを無駄にしたくありません。挑戦するお気持ちを大切にしながら、皆さまが安心安全に作業に取り組めるように意識をしています。（磯部さん）

移動の際は利用者さんの手元・足元をよく見るようにしています。動きや運びのスピードに出来るだけ合わせ、安全に移動できるよう努めています。（佐藤さん）

### 編集後記✐

日々の生活を送る中で、疲労はつきものです。休日は子供と遊び、美味しいご飯を食べて気持ちを入れ替えています。休日を充実させることで「明日も頑張るぞ！」とやる気が出てきます。
ワークライフバランスを大切にしています！

キララそよかぜ
金粕美幸

社会福祉法人そよかぜの丘
事故防止対策委員会　キララそよかぜ　金粕美幸

# あ～すそよかぜ取り組み報告

〇生活介護事業所あ～すそよかぜは、2022年2月で開所から丸5年が経ちました。開所当時から利用者も増えて、年齢層も広くなりました。

〇法人の重点方針でもある「利用者の安心・安全な支援の徹底を図る」を第一に、障害のある方の地域生活を支援することで、社会的責任を果たし、安全意識と支援力の向上を目指してチームとなり事故防止対策を推進します。

〇新型コロナウィルスの感染予防対策も行っています。
・施設内の備品、送迎や活動に使用する車両の消毒作業。
・職員が業務で使用する携帯電話やコピー機等の消毒作業。

# 普通救命講習Ⅰ受講

〇事故防止対策を達成する為、安全に対する意識の向上を図る為、外部研修を受講しています。
〇今回は横浜市防火防災協会主催の救命講習のひとつ、「普通救命講習Ⅰ」を再受講しました。
〇新型コロナウィルス感染予防の為、ケースによっては「胸骨圧迫」のみで「人工呼吸」をおこなわない処置も最新を受講することで得られる知識です。

〇安全第一に質の高い支援の提供をするため『話し合い、意識と行動の改革』を大切にしています。ヤマトダイレクトメール便投函の外仕事も多いですが、屋内活動の環境設定も安全な支援の原点として取り組んでいます。

## 〇委員紹介：戸田拓応

〇学生時代港南中央で過ごす
・2017年入職
・2020年あ～すそよかぜ勤務
・21・22年事故防止対策委員
・介護福祉士
・社会福祉士

**☆安全支援への言の葉/開所10年へ向けてのエントランス☆**
**〇あ～すは立場に関係なく意見交換ができて風通しと雰囲気がとても良いです！支援チームの状態が良い支援に繋がり、「対人援助」の現場で良い支援チーム作りに終わりはありません！そこで実践するストレスに対処するための意識的な対処過程を「コーピング」と言います、持続可能なチーム作りを毎日深めています！**

そよかぜの丘
社会福祉法人

社会福祉法人そよかぜの丘　事故防止対策委員会